



安全第一を呼び掛け

大林道路らパトロール

大林道路と佐藤渡辺は、「新東名高速道路 谷ヶ山トンネル」新御殿場IC間コンクリート舗装版工事」の現場で合同パトロールを実施し、作業環境や安全対策などを確認した。写真。

パトロールには黒川修治大林道路社長や石井直孝佐藤渡

辺社長らが参加した。大林道路の長井伸芳現場所長が現場概要などを説明した。

同現場はNEXCOC中日本の発注工事で、両社のJVが受注した。規模は、総延長(上下線)約26キロ、土工延長約11キロ。

工事場所は神奈川県山北町川西、静岡県御殿場市仁杉。

総評で黒川社長は、「昼礼

時にミーティングアプリを使用するなどの工夫も見られた。会社としても全面的にバックアップするので、竣工まで安全第一で頑張っしてほしい」と呼び掛けた。石井社長は「ヒューマンエラーの事故をなくすため、声掛けなど風通しの良い環境づくりで竣工まで無事故・無災害となるよう現場運営をお願いする」という求めた。

